講習内容

座学・現地実習は、概ね1講習3時間を基本として実施しています。

時　間	座学：50分	現地実習：120分
内　容	・背景、課題 （関係法令、河川維持管理の課題 等） ・点検の流れ 「堤防の状況監視」 （状況把握～維持管理対策の流れ 等）	・河川施設の変状 ・点検実施 ・点検結果の評価 ・対策工の実施　等

※事前に受講者の技術レベル、講習で学びたいこと、得たい知識などを把握したうえで受講者が求めるテーマ（項目）を主体として説明を行います。そのため、講習内容・時間がその都度変わります。

習得技術

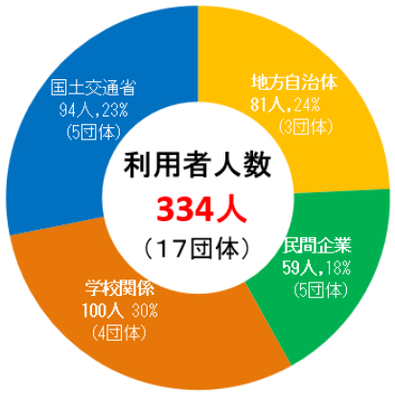
【実用技術の追求】⇒河川全体の技術力底上げ、人材育成に寄与します。

対 象 者	習 得 技 術 等
産 （民間企業）	河川技術・情報の重点ポイント、入手手段に関わる情報収集 事例（好事例、不具合事例）に基づく現場対処方法 計測技術・判断指標の捉え方等の技術基準 河川管理者の施工管理（品質、安全等）視点について
学 （学校関係）	河川全般に関わる基礎技術 現場管理、品質管理等に関わる情報収集
官 （河川管理者）	評価区分等、判断に関する見極め 現場に直結した品質・施工管理（重点ポイント） 平時の備え、有事の対応等、求められる対処に関する情報収集 各河川管理者相互における情報共有等（国・県・市等の現状把握）

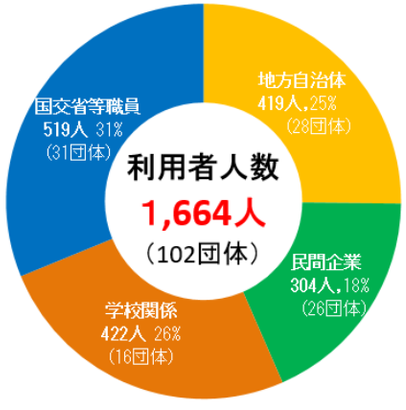
実習施設の利用状況

令和3年6月から本格的に運用を開始しました。

令和7年度



令和3～7年度



国土交通省　東北地方整備局　東北技術事務所　品質調査課
URL：http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/
住　所　宮城県多賀城市桜木3丁目6－1
電　話　022－365－7988（直通）

体験型河川堤防等実習施設の説明動画はこちら→

【申込み先】http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/gijutsuryoku/jinzai/kasenshisetsu.html

どなたでも無料で体験可能です。お気軽にご相談ください。

2026. 3. 31現在

実物大の臨場感で！“見て 触れて 考える”

体験型河川堤防等実習施設



体験型河川堤防等実習施設は、堤防等の異常箇所（変状）が常に確認できるように**不具合を再現した実物大の実習施設**です。

河川における技術力向上、人材育成を目的として、「見て、触れて、考える」をコンセプトに堤防等の河川管理施設の点検・評価の技術を習得する**東北地方唯一の体験型実習施設**であり、令和3年度から本格運用しています。


堤防の抜け上がりの計測実習


堤防法面のはらみ出しの計測実習


打音による護岸空洞化の調査実習


堤防天端亀裂箇所の計測実習

国土交通省　東北地方整備局　東北技術事務所

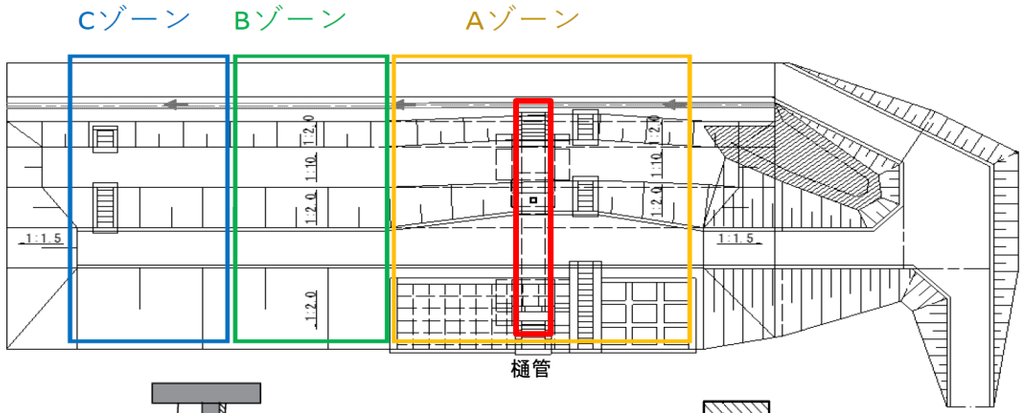
体験型河川堤防等実習施設の概要

施設概要

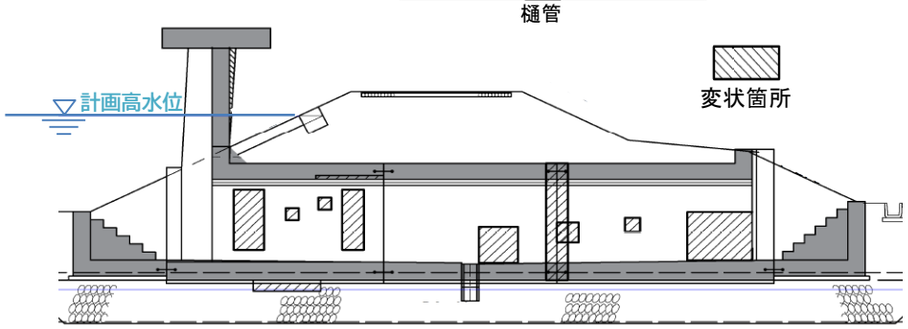
施設は、「土堤部」、「樋門」、「取付護岸及び付帯施設」で構成され、変状要因により3つのゾーンに分けて変状を再現しています。

◆諸　元　土堤　延長L＝40m 高さH＝3.0m 天端幅W＝3.0m 法勾配1:2
樋管(L=14.2m　H=2.0m　W=1.5m)
護岸(大型連結ブロック、コンクリート格子張工)、階段工

土　堤



樋　管



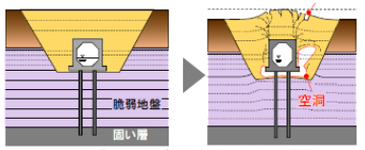
▼再現変状一覧

ゾーン	変状区分	再現変状
Aゾーン	堤防のクラック・緩み 取付護岸の破損	1ブロック護岸の破損（段差）
		2ブロック護岸の破損（空洞）
		3法枠護岸の破損（空洞）
		4法枠護岸の破損（亀裂）
	函体底版下面の空洞化	5堤防の抜け上がり
		6函体底版下等の空洞
	函体等の破損	7クラック
		8鉄筋の露出
		9外部豆板
		10内部豆板
		11浮き・剥離
	継手の変形、破断	12継手の開き
	門柱等の変形、破損	13門柱の傾斜
	函体の過大な沈下	14函体の過大な沈下（柔構造樋門を想定）
	陥没や不陸	15陥没
	漏水・噴砂	16噴砂
	モグラ等の小動物の穴	17モグラ等の小動物の穴
Bゾーン	堤防天端の沈下	18沈下
	堤防天端の亀裂	19亀裂
	堤防法面のはらみ出し	20はらみ出し
	堤防法面の寺勾配	21寺勾配
	堤脚保護工の変形	22堤脚保護工の変形
	堤防法面の法崩れ	23法崩れ
	排水不良	24排水不良
Cゾーン	堤防天端の亀裂	25亀裂
	堤防法面の法崩れ	26法崩れ
	陥没や不陸	27不陸
	侵食・植生異常	28ガリ侵食
	侵食・植生異常	29植生異常（イタドリ）

Aゾーン

※Aゾーンの樋管の変状は一部、「柔構造」の変状も再現し、参考として「施工不良」も追加している。

Aゾーンは剛支持樋管を想定し、土堤と樋管で支持機構が異なることにより発生する変状を再現しています。



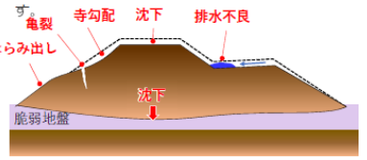
▲Aゾーンの変状発生イメージ図



▲抜け上がり

Bゾーン

Bゾーンは軟弱な基礎地盤上に築堤した際に発生する変状を再現しています。
軟弱な地盤の上に盛土をすることで堤防全体が沈下し、様々な変状が発生します。



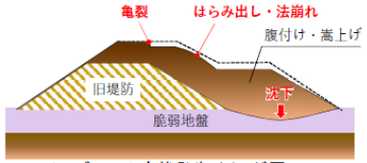
▲Bゾーンの変状発生イメージ図



▲排水不良

Cゾーン

Cゾーンは旧堤部に腹付け・嵩上げ盛土をした際に発生する変状を再現しています。地盤が軟弱な個所では盛土個所で沈下し、様々な変状が発生します。



▲Cゾーンの変状発生イメージ図



▲亀裂

「河川」の点検技術を学ぶ

1. 点検の基本を学ぶ

・関係法令
・河川維持管理の課題
・河川管理施設の老朽化
・点検の流れ



写真：点検に関する講義

2. 点検技術の習得

・点検の実施
(時期・留意点・人員配置等)
・発生要因、構造物等への影響
・変状毎の点検・計測方法
・変状箇所の撮影方法(案)等



写真：函体内部の変状確認の実習

3. 評価技術の習得

・施設区分(土堤、樋門・樋管等)
・変状種別(亀裂、法崩れ等)
・変状評価区分
「a.異常なし」
「b.要監視段階」
「c.予防保全段階」
「d.措置段階」



写真：堤防天端の載荷重による沈下

4. 対策技術の習得

・変状種別毎に応急対策、本復旧の対策技術を習得

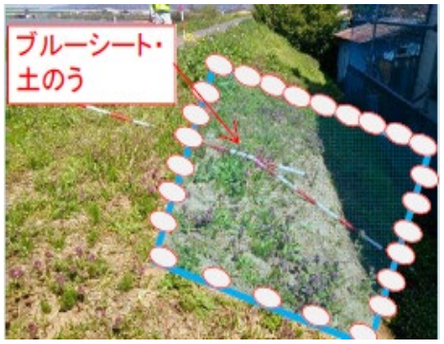


写真:「はらみ出し」の応急対策例